

資本コストや株価を意識した経営の推進・対話の促進

- 積極的に取り組む企業のサポート施策を継続的に推進 ⇒ 資料 2
 - 足元の取組み・開示状況について、機関投資家からのフィードバックや企業が抱える課題を把握【継続】
 - ポイント・事例集をアップデート（好事例集に開示内容だけでなく検討プロセスの要素を追加）など【2025年秋】
 - 機関投資家とのコミュニケーション促進、啓発活動など

- ※ IR体制の義務化【2025年7月22日施行】
- あわせて「IR体制・IR活動に関する投資者の声」を公表【2025年7月下旬（予定）】 ⇒ 資料 3

資本コストや株価を意識した経営を推進する中での課題

親子上場

- グループ経営や少数株主保護に関する検討・開示を推進
 - 親子上場等に関する投資者の目線も踏まえ、開示状況をフォローアップ【2025年秋】
 - 開示のポイント・事例集の公表【2025年冬】
- ※ 少数株主保護の観点から必要な上場制度の整備についても、検討を継続（上場子会社の独立社外取締役の独立性確保など）

完全子会社化・MBOが増加する中での課題

非公開化

- 一般株主の公正な利益確保の観点から、特別委員会における検討の実効性向上や必要な情報開示の充実を推進
 - 企業行動規範の見直し【2025年7月22日施行】

※ 非公開化の場面など社外取締役向けの啓発（セミナー等）を開始【順次】

スタートアップ企業の成長促進

- グロース市場を「グロース企業（＝高い成長を目指す企業）が集う市場」とするための施策を推進 ⇒ 資料 4
 - 上場維持基準を「5年100億円」に見直し【2025年4月・7月方針公表→9月に制度要綱公表（予定）】
 - IPOに関するスタンスをスタートアップに周知【順次】
 - 高い成長の実現に向けて取り組む企業のサポート・メリットの創出【順次】
 - ・ 高い成長を目指した経営の働きかけ【2025年9月】
 - ・ 取組みのポイント・好事例の提供【2025年秋】
 - ・ 上場企業・上場準備企業への啓発活動【順次】
 - ・ 取組みの見える化、機関投資家との接点づくり【順次】
- その他施策もスタートアップ経営者などと意見交換しながら順次アップデート

（参考）TOPIXの見直し（第2段階）

- スタンダード・グロースからも組み入れ（2026年10月以降）

- スタンダード市場の今後の方向性 ⇒ 資料 5
- プロマーケットの位置づけの再整理【今後検討】

経過措置の終了に伴う対応

- 経過措置終了のスケジュールや改善期間入り企業について、株主・投資者への周知・注意喚起を強化【継続】
- 改善期間入り企業に対し、取組みの進捗や上場廃止リスク等について、株主・投資者への丁寧な説明・情報提供、必要な取組の検討・実施も要請（個別のヒアリングも実施）【継続】 ⇒ 資料 6